

第30回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時：令和6年3月22日（金）

午後2時00分～午後3時00分

場所：長野市役所第2庁舎10階203会議室

出席委員：5名（竜野委員長、金澤副委員長、越原委員、塚田委員、石川委員）

もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 柳沢部会長

欠席委員：2名（柳瀬委員、吉川委員）

- 1 開会
- 2 長野市都市整備部長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事

（1）もんぜんぷら座敷地利活用検討部会 検討結果報告 答申案について

資料1、資料2、資料3（説明者：もんぜんぷら座敷地利活用検討部会長）

発言者	発言内容
委員長	まずは、本委員会の委員のうち、もんぜんぷら座敷地利活用検討部会の委員でもあった3名から一言ずついただきたい。
委員	改めて資料を拝見すると、たくさんの方が検討されたのだと思う。資料1の答申案のとおり、よくまとまっていると思う。ただ、もんぜんぷら座敷地利活用検討部会が設置された当初、私はまちが変わる、それが決定付けられる瞬間に居合わせることができるのだという大きな期待感があったが、実際には、夢物語を描くわけではないので、答申案も非常に均一なものになっている。コロナ禍や円安、不景気など、何となく社会が暗いので、その影がこの部会にも落ちてきており、先を期待して明るくなるような部会ではなかったようにも感じる。現実的ではあるが、夢がない。まちづくりやにぎわいを創出するという時は、文字には書けない期待感やわくわくする気持ちがとても大事だと思うが、それが全体的に少し欠如していた気がする。その点は少し残念だった。これをもって、少し世の中が上を向いて明るくなり、楽しいまちになることを期待したい。
委員	商店もだんだん弱小化してきており、商売を辞められる方もおられるという現状の中、このまちはどうなってしまうのかと心配していたところに、このような良い提言が出てきた。数年後にまたまちが復活してくればいいなと思っている。「ここちよい まちなかの居場所」というテーマも先日の部会で決まったが、本当に様々な意見が出た中、最終的に一番良い言葉にまとまったと思っているので、今後のまちづくり

	に期待したいと思っている。
委員	<p>すべての部会委員が、非常に難しいテーマの検討であると捉えていた会議だったと思っている。</p> <p>今回出た結論を核として進めることになると思うが、これからどう時代が動いていくかは予測できないし、不確定要素もたくさんあると思う。行政としては、一旦決めたことの中で変化に対応するというのは難しいこともあると思うが、新田町交差点周辺は中心市街地の将来にとって重要な、核になるところだと思うので、変化すべきところは変化させて、そして時代が変わっても守らないといけない部分や大事にしないといけないところはぶれずに進めていただきたい。</p>
委員長	では、検討部会からご報告いただいた答申案について委員の皆さんから意見を伺いたいが、いかがか。
委員	よくまとまっていると思う。次に向けた課題も出ているようなので、もんぜんぷら座の取り壊しまでの間に具体的に進めていくことが重要だと思う。まちなかの居場所ということなので、小さな子どもたちも来て、遊べるような場所も作っていかないといけないのではないかなと思う。環境が変わる中で、ぜひわくわくするような場所を作っていただきたい。
委員長	私も前回の委員会で意見を申し上げたので、特段意見はない。 それでは、今回ご説明いただいた答申案について、案のとおり答申するというところでよろしいか。
全委員	賛同
委員長	承知した。 なお答申については、令和6年3月28日に市長に対して行うということになっているので御承知おきいただきたい。

5 その他

	その他議事無し
--	---------

6 閉会